

第33回

3月18日(日) 18:00~ (受付17:30~)

大阪啾啄同時塾

自己の啓発や発展を自分から進んで学んでいこうという、前向きな意識をもたれる方であればどなたでもご参加いただけます。



講演テーマ

泣いて、笑って、逝こう

考え方を変わると人生も変わる! 笑いが心と身体を強くする。
のぼり流“非まじめな生き方のススメ”。

日時

3月18日(日) 18:00~ (受付 17:30~)

会場

大阪リバーサイドホテル 大阪市都島区中野町5-12-30 TEL06-6928-3251

聴講料

3,000円 懇親“縁”会 有り 自由参加です。(費用は別途)

※お申込は裏面をご覧ください。

1947年鹿児島生まれ。九州大学医学部卒業後、麻酔科、産婦人科の専門医として82年より大阪在住。

平成11年に年間1000名の出産を取り扱う病院を退職。

現在、大阪市で産婦人科診療もしながら、「日本笑い学会」副会長（「笑いと健康」の部門を担当）として笑いの医学的効用を研究。前向きな楽しい極楽トンボの生き方が、高齢化社会をダイヤモンドエイジにする長生きの秘訣と説き、現在は「元気で長生き研究所」所長として全国を講演活動中の自称『健康法師』。

1997年夏、ガン患者15名とともにモンブラン、

2000年8月ガン克服日米合同富士登山に参加。

2003年4月「第一回千百人集会」（末期ガンから生還した百人が千人の闘病者にその体験を語る集会）にも参加し、ガンはその原因を改めると平和共存することを確認。また、日本人の本来の食のあり方について医学的見地からも講演し、欧米人と日本人の遺伝子の違いから食教育を説く。

NHKラジオ深夜便に「笑いは心の絆」と題して3回出演。

1998年10月には、「おもいっきりテレビ」にも出演。笑うことは健康にいいことを実験で証明した。

2006年11月に「健康は笑いから」という題でNHKラジオ深夜便のCDを発売。

2006年5月出雲大社で還暦記念に「おっちゃん3人ライブ」をやり、ハーモニカ（もり・けん）、口笛（もくまさあき）、アコーディオン（昇幹夫）演奏による「日本の心」・「12kagetsu」というCDも発売。



元気で長生き研究所 所長
日本笑い学会副会長

昇 幹夫 先生

昇 幹夫 著作

『泣いて生まれて笑って死のう』

考え方を変わると人生も変わる!
笑いが心と身体を強くする。
のぼり流“非まじめな生き方のススメ”。

